



談話室を兼ねたランドリールームなど、女性用のスペースが新たに設けられた＝東京都小金井市の松濤学舎

東京・県ゆかりの学生寮

「松濤学舎」男女共用に

東京都 首都圏で学ぶ佐賀県ゆかりの大学生向けの学生寮「松濤学舎」(東京都小金井市)の施設を男女共用にする工事が終わった。9日に祝賀会があり、関係者約80人が来年100周年を迎える学舎の新たな門出を祝った。

公益財団法人「佐賀育英会」が運営する松濤学舎は1924年に設立され、71年に現在の場所に移転。男性専用寮だったが、これまでも女子学生から入寮希望があった。近年は定員割れが続いていた

受け入れ開始 女性活躍の一助に期待

こともあつて女子学生の受け入れを決め、創立100周年事業として共用化工事を行った。

祝賀会で碓正義理事長(86)は「男女共用化は松濤学舎が生まれ変わるための起死回生の一手。佐賀県の発展や女性活躍に向けた一助になれば」と期待を込めた。会に先立って施設が案内され、男女別の居住スペースやランドリールーム、カフェ区画など生まれ変わった寮の内部を参加者が見学した。

すでに女子学生の受け入れが始まっており、女子4人、男子29人が寮生活を送っている。女子学生第1号の1人となった菖蒲池真絹子さん(22)は「リノベーション後、津田塾大4年IIは「リノベーション後のきれいな宿舎に住めるのはうれしい。佐賀出身という共通点を持った、いろいろな大学の人と交流できるのもいい」と話した。定員には空きがあり、年度途中でも随時受け付けている。

改修費用は約1億円。佐賀県へのふるさと納税を通して寄付を募っており、受付期間を来年3月まで延長した。佐賀育英会は「引き続き支援いただきたい」と呼びかけている。

(大橋諒)

